

「COVID-19 影響下におけるがん患者のレジリエンスと孤独感に関する調査」

の研究協力をお願い

この度は、がん患者さんの生活状況と、レジリエンス（困難を跳ね返す力）や孤独感に関する研究協力をお願いいたすご案内いたします。以下に研究内容を記載しておりますので、ご協力の程よろしくようお願い申し上げます。

研究目的

COVID-19 がこれまでの生活様式を変え、そのスタイルに適応していくことが必須となっている現実があります。がん患者さんにおいては、自らの疾患と共存しながら自分らしく生きることを目指し、日々治療や療養生活を送っていると思われます。そのような中で、がん患者さんが求める患者さん同士の交流や情報交換の場は一時的といえども奪われ、自宅に籠る生活スタイルによる孤独感の高まりが懸念されます。

そこで、本研究ではがん患者さんの自宅での生活を調査し、レジリエンス（困難を跳ね返す力）や孤独感との関係性を明らかにすることを目的としています。

対象者

20 歳以上のがん患者さん

実施内容

- ・無記名のアンケート調査になります。
- ・研究への参加は任意です。
- ・所要時間はおよそ 10 分程度です。

ご協力いただく場合、以下の QR コードを読み取り、内容をご確認後、各質問に回答してください。



パソコンからアンケートにお答えいただく場合は、「札幌医科大学アイン・ニトリ緩和医療学推進講座」で検索していただき、「研究（WEB アンケート）へのご協力をお願い」より URL をクリックしてお答えください。

[「スマートフォン、QR コードが読み取れない方はこちら」](#)

問い合わせ先

札幌医科大学アイヌ・ニトリ緩和医療学推進講座 特任助教 川村 舞

TEL : 0 1 1 - 6 1 6 - 0 2 3 4 Mail : kanwa@sapmed.ac.jp